

最近の雇用情勢について

(平成29年5月)

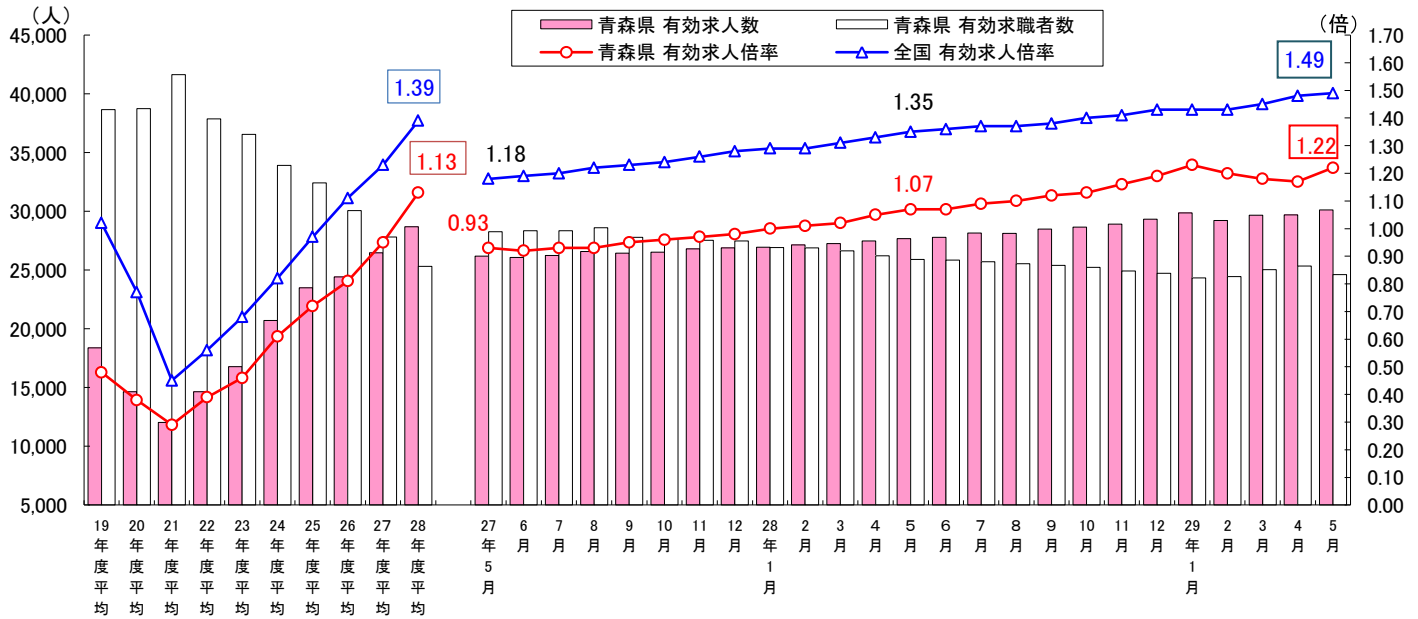
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

5月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.5%増加し30,121人、有効求職者数(同)は2.9%減少の24,617人で、有効求人倍率(同)は1.22倍となり、前月を0.05ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、1.30倍となり、前月を0.04ポイント上回り、受理地別の倍率を0.08ポイント上回った。

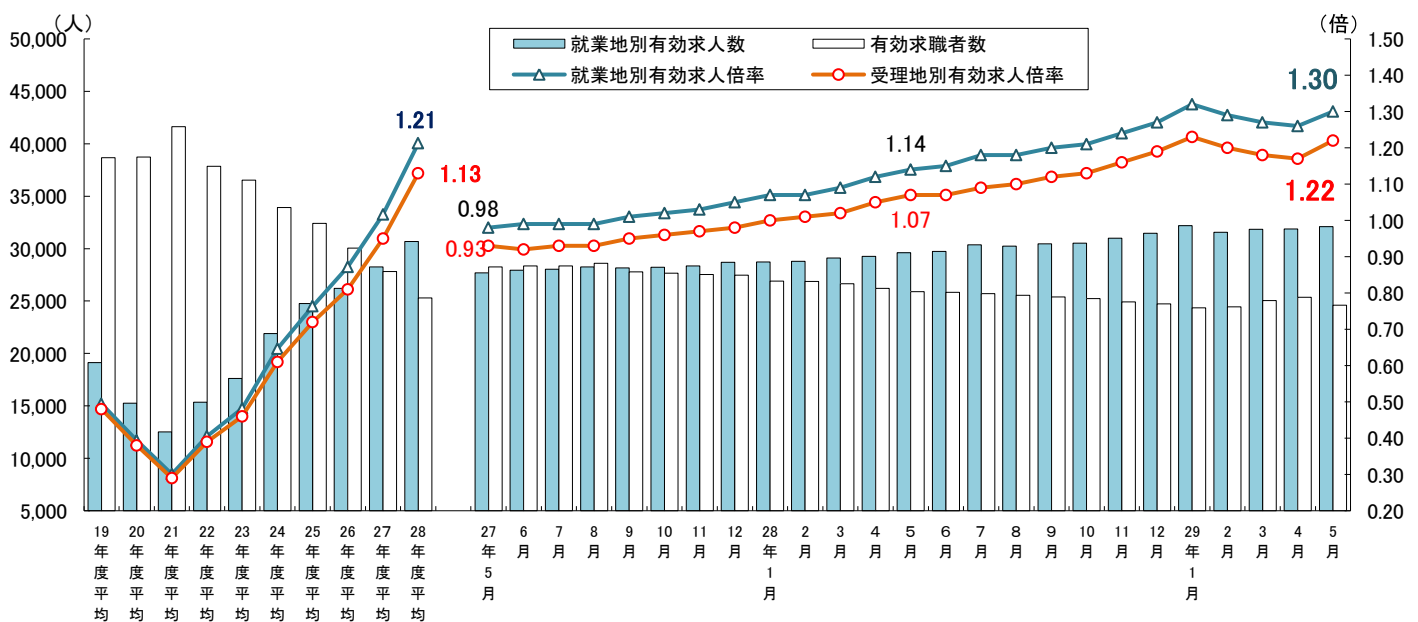
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



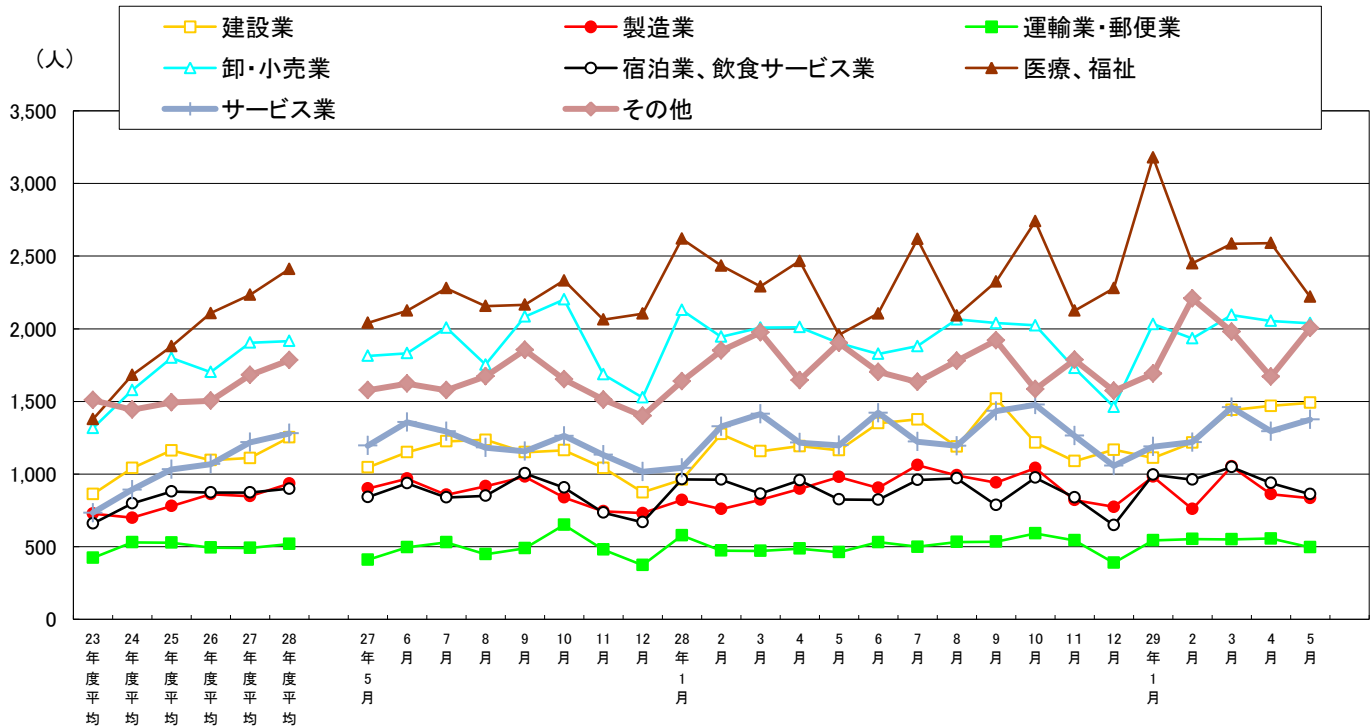
全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

5月の新規求人数(原数値)は前年同月比8.9%(927人)増加、前月比1.0%(114人)減少の11,317人。

産業別で前年同月と比較すると、建設業、卸売・小売業、生活関連サービス、娯楽業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業、情報通信業、不動産、物品賃貸業等で減少した。製造業では、繊維工業、化学工業、石油製品製造業、窯業・土石製品製造業、電気機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、印刷・同関連業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で減少した。



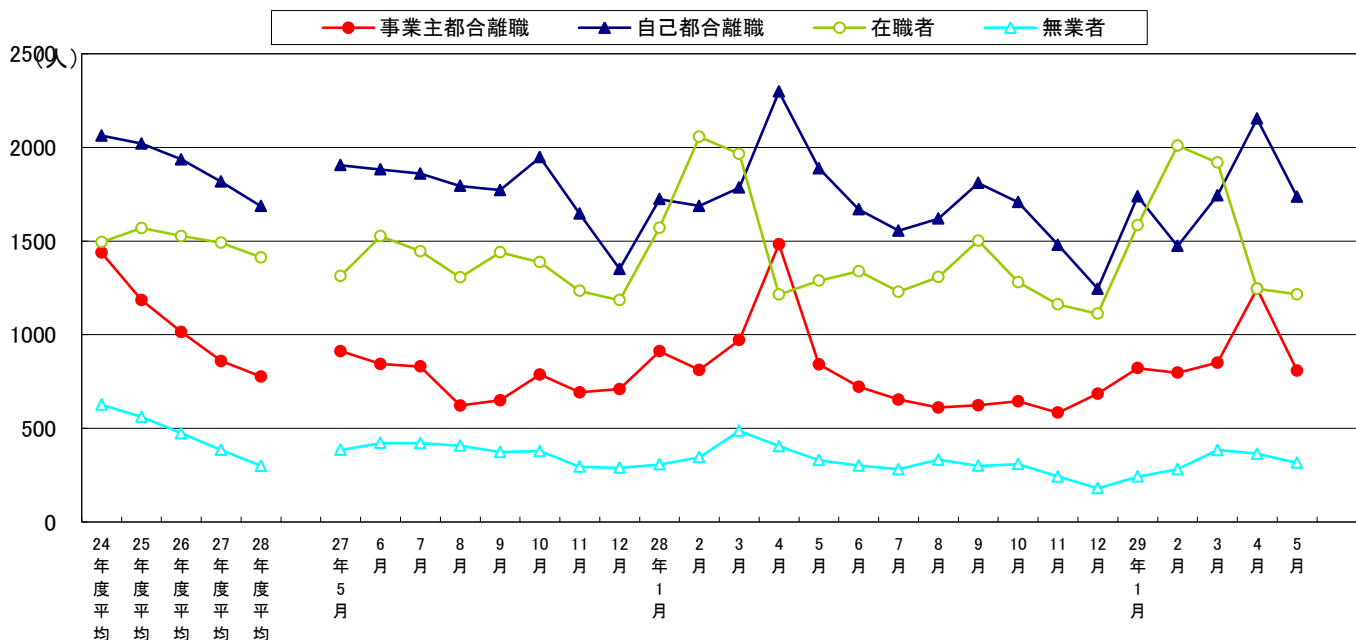
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

5月の新規求職者数は、前年同月比6.3%(278人)減少、前月比20.4%(1,065人)減少の4,166人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は5.7%(73人)減少し、離職者は6.8%(191人)減少、無業者は4.3%(14人)の減少となった。

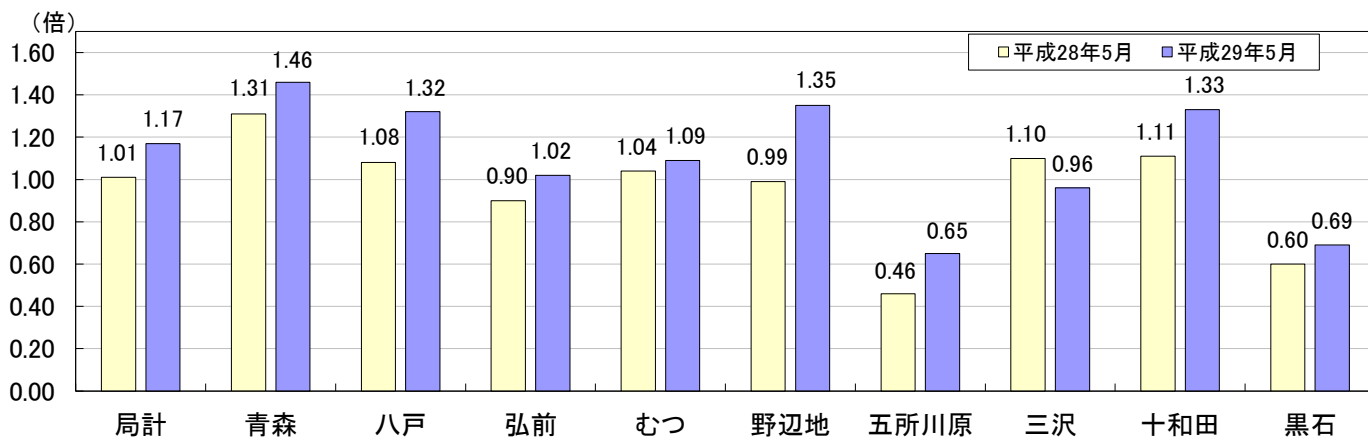
離職理由でみると、事業主都合は3.9%(33人)の減少、自己都合は8.0%(151人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

5月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.17倍となり、前年同月を0.16ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



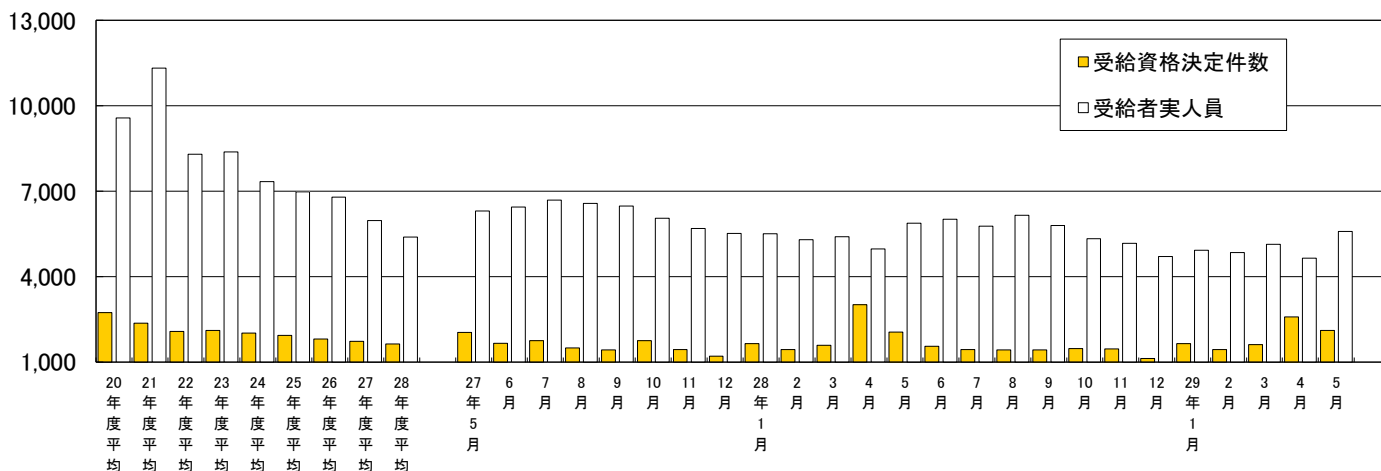
	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,944	6,414	5,759	4,904	1,278	893	2,634	1,464	1,203	1,395
有効求人数	30,263	9,393	7,599	5,015	1,392	1,204	1,699	1,401	1,597	963

V 雇用保険の状況

5月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比5.0%(292人)減少、前月比では20.4%(947人)増加の5,586人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比2.6%(53件)増加、前月よりも18.6%(481件)減少し2,103件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比12.2%(29人)増加、前月比51.5%(284人)減少し267人となった。

(人) 受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

